

図画工作科の学習案内

学習のねらい

- ・表現及び鑑賞の活動を通して感性を働かせながら、
つくりだす喜びを味わうようにします。
- ・造形的な創造活動の基礎的な能力を育てます。



豊かな情操を養います。

学習内容

低 学 年	<表現> ○材料をもとにして、楽しい造形活動をする。 ○感じたことや想像したことを絵や立体に表したり、つくりたいものをつくったりする。 <鑑賞> ○かいたりつくったりしたのを見たり、友だちの話を聞いたりして、形や色、表し方のおもしろさ、材料の感じなどに気づく。
中 学 年	<表現> ○材料や場所などをもとにして、楽しい造形活動をする。 ○見たこと、感じたこと、想像したことを絵や立体に表したり、つくりたいものをつくったりする。 <鑑賞> ○作品のよさやおもしろさに関心をもって見る。 ○感じたことや思ったことを話したり、友だちと話し合ったりするなどして、いろいろな表し方や材料による感じの違いなどが分かる。
高 学 年	<表現> ○材料や場所などの特徴をもとに、工夫して楽しい造形活動をする。 ○見たこと、感じたこと、想像したこと、伝えたいことを絵や立体に表現したり、工作に表したりする。 <鑑賞> ○自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみやすい美術作品などを鑑賞し、それらの良さや楽しさに親しむ。 ○感じたことや思ったことを話したり、友人と話し合ったりするなどして、表し方の変化、表現の意図や特徴などをとらえる。

評価のポイント

【知識及び技能】	材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりしているかを、作品や活動等から評価します。
【思考力、判断力、表現力等】	自分のイメージをもちながら、創造的に発想や構想をし、作品に対して自分の見方や感じ方を深めているかを作品や活動等の様子から評価します。
【主体的に学習に取り組む態度】	つくりだす喜びを味わい、主体的に表現したり鑑賞したりしているかを授業の態度や活動の様子などから評価します。

ご家庭へのお願い



- 身近にある包装紙や空き箱、空き容器など、作品の材料になりそうな物を、普段から集めておいてください。
- 家庭でも粘土、クレヨン、パス、はさみ、のり、水彩絵の具、小刀類等を使用させて、慣れさせるようにしてください。